



参加費  
無料

どなたでもご参加  
いただけます

京都大学大学院文学研究科・文学部 公開シンポジウム

# ヨーロッパの文芸共和国

## — わたしたちにとっての遺産

16世紀から18世紀にかけてのヨーロッパには、学芸にたずさわる人びとが、政治・宗派・言語の境界を越えて結びついたネットワークが存在しました。ヨーロッパの歴史的な事例とその遺産を検討することをおして、わたしたち自身の「学問の共和国」の現状と未来についてあらためて考えます。

日時・場所

2015年 12月12日(土)

午後1時半から6時頃

京都大学法経済学部本館2階第6教室(★印)  
(京都市左京区吉田本町)



講演者

**永盛克也** 京都大学大学院准教授 (フランス文学)  
「フランスにおける文芸共和国  
— モンテーニュからヴォルテールまで」

**廣田篤彦** 京都大学大学院准教授 (英文学)  
「イングランド人と文芸共和国  
— モア、シドニー、ミルトン、シェイクスピア(?)」

**小山 哲** 京都大学大学院教授 (西洋史学)  
「旅と翻訳—ポーランドからみる文芸共和国」

コメンテーター

**天野 恵** 京都大学大学院教授 (イタリア文学)

**中砂明徳** 京都大学大学院教授 (東洋史学)

**平川佳世** 京都大学大学院准教授 (美術史学)

**松村朋彦** 京都大学大学院教授 (ドイツ文学)

司会

**金澤周作** 京都大学大学院准教授 (西洋史学)